

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔26〕 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人東京援護協会			指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他					
(2)類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,219,199,405円,歳出4,959,097,036円,収支差額260,102,369円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷 4 - 4 - 3					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分					
(5)規模	延べ床面積 4,671㎡のうち1,297.01㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部					
(6)人員体制	21名 内訳...事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤3、非常勤9)、看護職員(非常勤2)、運転手(非常勤5)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、介護予防通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員35名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	10,800,000	10,800,000	10,800,000	11,500,000	11,759,000
	利用料金収入	87,153,000	87,198,000	89,647,000	82,171,000	79,958,000
	その他収入	4,322,000	1,645,000	50,000	57,000	1,201,000
	管理経費	102,275,000	99,643,000	100,497,000	93,728,000	92,918,000
決算	委託料	10,800,000	10,800,000	10,800,000	11,500,000	11,759,000
	利用料金収入	85,827,826	87,799,043	81,858,088	88,317,558	84,794,282
	その他収入	1,898,262	1,717,609	62,403	10,401	15,012,909
	管理経費	95,442,961	96,088,774	92,129,048	107,152,604	88,091,080
	収支	3,083,127	4,227,878	591,443	-7,324,645	23,475,111
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	309	310	309	312	
定員	人	35	35	35	35	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度	
利用率	%	90	81	89	86.1	
利用者数	人	9,800	8,825	9,673	9,405	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

利用者のニーズの高い入浴サービスに合わせて送迎時間を工夫するなど、サービスの向上に努めた。また、経営改善を検討する内部委員会を設置し、全職員が年2回省エネ等についての提案をするなどの取組みを行った。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.3]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [3]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	利用者のニーズの高い入浴サービスに合わせて送迎時間を工夫するなど、サービスの向上に努めた。
(2)施設の維持管理	A	施設電灯のLED化や節水装置の取付等の省エネや環境に配慮した取組みを施設として行っている。
(3)利用者の満足度	A	利用者満足度調査の結果は「大変満足」・「満足」と回答した方が82%と良好であった。また、ケアマネジャーを対象とした昼食の試食会を開催し、利用率の向上に繋げる試みを行った。
(4)収入支出	S	平成27年度より経営改善を検討する内部委員会を設置し、年2回全職員が省エネに関する提案を提出するなどの取組みを行った結果、収支がプラスとなった。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	平成27年度より経営改善を検討する内部委員会を設置したことで、職員の意識が高まり、収支がプラスになった。また、ケアマネジャーを対象とした昼食の試食会を開催するなど、利用率の向上のための取組みも行っている。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

今後も入浴サービスの充実など、利用者のニーズを捉えたサービスを提供するよう努め、サービスの向上・利用率の向上に取り組んでいく。